

令和7年度 学校関係者評価報告書
大阪市立 茨田中学校 学校協議会

1 総括についての評価

評価については妥当である。
生徒や保護者アンケートの検証資料の結果から、学校が子どもたちの学力を向上させるために、学習環境を整備し授業改善を行っていることが伺える。
次年度も地域、中学校、家庭が連携して、子どもたちが安心して通える学校にしていきたい。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- 令和7年度末の校内アンケートの「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を、85%以上にする。 R7 82.3%
- 毎年度末の校内調査において、不登校の生徒の割合を、毎年、前年度より減少させる。 R7 11.22%(2月末現在)

学校園の年度目標

- 令和7年度の校内調査の「災害や防災について他人事ではなく、自分にも起こりうる事として考え行動できた」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、90%以上にする。 R7 95.5%
- 令和7年度の校内調査の「ごみの落ちていないきれいな学校」の項目で肯定的な回答を85%以上にする。 R7 76.5%
- 令和7年度末の校内調査の「一人ひとりのちがいを大切にしている」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を、80%以上にする。 R7 98.7%

- ・不登校が少しでも減るように来年度も努力していただきたい。
- ・校舎が新しくなり、「ごみが落ちていないきれいな学校」を維持してほしい。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合（R5 45%）かつ肯定的な回答をする生徒の割合（R5 85%）をそれぞれ50%、75%以上にする。 R7 44% 84%
- 令和7年度の中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント向上させる。
- 令和7年度の中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合（R5 53.5%）を50%以上にする。 R7 57.7%

学校の年度目標

○ 令和7年度末の校内アンケートの「学校・家庭において正しい生活習慣を守っている」の項目で肯定的回答を80%以上にする。 R6 83.3% R7 85.7%

- ・ 来年度もさらに学力向上を図っていただくようお願いする。
- ・ ICTも活用し、主体的で対話的な深い学びを進め、授業力向上を図ってほしい。

年度目標：【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

○ 授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く〕

R7 39.2%(1月末現在)

○ 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。

R7 70% (2月末現在)

学校園の年度目標

○ 令和7年度末の保護者アンケートの「学校では、社会のルールを守る態度を育てようと努めている」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を、90%以上にする。R7 97.4%

- ・ ICT活用をさらに図り、学力向上につなげていただきたい。
- ・ 教職員の働き方改革が叫ばれている。教職員の皆様に健康管理をしっかりとさせていただき、生徒のために頑張ってください。

3 今後の学校園の運営についての意見

本年度も校舎建て替えが終了し、運動会も本校で実施できるようになり、生徒の思い出になる行事を創意工夫して実施していただき感謝している。次年度も東館整備工事工事もあるが、来年度も引き続き頑張ってください。